

ウェブサイト等閲覧者各位・ステークホルダー各位
日本マネジメント総合研究所合同会社
2017年(平成29年)4月16日

弊社理事長の戸村智憲に対する風評被害・営業妨害等の可能性についての見解

福島・鳥取・熊本大分の震災及び東日本大震災・各種災害等にて、被災された方々と復興者の皆様のご安全と1日も早い実りある復旧復興と共に、ご無念ながら天上に召されました尊い御霊・御仏のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、過去にも同様の手口で風評被害・営業妨害行為等がございましたが、この度、下記のような**問題対処を行ってからほどなくして、弊社理事長の戸村智憲に対する問題行為がウェブサイト上で発見**されました。

- ・本年開催の弊社理事長が登壇した公開セミナーにおいて、弊社理事長に対して公然と名誉棄損・侮辱・金銭要求・罵声および野次などによる進行妨害行為に抵触し得る悪質行為を行った某大手飲料メーカー（ホールディングス親会社）の内部監査部門の監査人と思しき人物に対して、弊社理事長みずから毅然と法的・倫理的に妥当と思われる範囲内で厳正に対処せざるを得なかった事件
- ・米国IT企業の東京オフィス責任者による本年のプレスリリースにおいて、弊社理事長個人が有する知的財産権の侵害行為の有無に関する事実確認および当該知的財産権の保護に関する要請・打診等

参考：過去に弊社にて確認したウェブ上の問題行為は下記にございます。

<http://www.jmri.co.jp/jmri.kenkai.2015.Jan.17.pdf>

<http://www.jmri.co.jp/Kenkai.AmazonReview.2015.Mar.17.pdf>

(注) 本格的な不正調査等が完了する前の注意喚起として、現時点では、上記2件の問題の関係者等が本件に直接的・間接的に関与したものであるかどうかや固有名詞等は、訴訟準備等の観点からコメントを差し控えさせていただきます。

弊社にて不自然な検索予測候補と検索結果を突き合わせてみた際に推測するところでは、**検索エンジンでの不自然な検索予測候補リストアップへの工作が行われたものと思料**致します。



弊社理事長の個人氏名「戸村智憲」を Yahoo!の検索エンジンで入力・検索すると、検索予測候補の掲載にて「戸村智憲 うさんくさい」といった弊社理事長個人に対して悪意ある検索エンジン対策が施されたと推察される形跡が見受けられました。

法的・倫理的にも社会通念的にも問題ある不適切行為または悪質な脱法行為によって、ネット上での問題ある現況が確認されましたことは、弊社としても弊社理事長個人としても大変残念に思います。

悪質行為を行った方や、後々の大きな問題になる前に歯止めをかける思いやりを持って接して参りました方などが、いわゆる逆切れや意趣返し的に被害者ぶって弊社および弊社理事長個人を攻撃する対応が確実に存在しているのであれば、弊社として看過すべきものではないと判断致します。

法的対応により、プロバイダへの開示請求等を通じ、悪意ある対応を行った個人・法人等の加害者が確実に特定されたような際は、弊社顧問弁護士および当該弁護士より IT 法務に詳しい弁護士等と相談の上で、弊社としまして民事訴訟・刑事告訴の両面を視野に入れて厳正な対処を必要に応じて講じて参ります。

なお、実際に弊社理事長みずから検索してみたところ、「戸村智憲 うさんくさい」という検索予測候補では、これまでほとんど検索候補にすらあがってこなかった 2008 年～2009 年にウェブ掲載した内部統制コラムの記事内での「胡散臭い」(検索予測候補はひらがな、記事は漢字)という用語に無理やりひもづけられた形でヒットし、下記の記載内容に呼応するよう仕向けられた検索予測候補リストアップの工作が行われたものと思われま。

【「戸村智憲 うさんくさい」でヒットしたウェブサイト記載内容の引用抜粋】

(前略) 私が指摘ばかりして解決策を持たない胡散臭い内部統制論者ではないことを自ら証明するためにも、又、「じゃあ、どうすれば良いのか示してみろ!」とツッコミを入れられる方に「これですよ。ハイ。」とお示しできるものとしても、日本版 COSO モデルの 4 目的×6 要素=24 マスのマトリクスで、どの目的のどのマスが赤・青・黄色(信号色で問題点を明示: 赤が問題点)なのかを示せて、しかも、内部統制の意識面と行動面からの質問項目から、自社の内部統制の浸透度・実践度を 24 マス全てで定量的に示せるツールを作りました。(後略)

弊社も弊社理事長としましても、言論の自由および表現の自由等を尊重しつつネットにおける倫理等にも基づき、言論・表現の場にて公式に弊社としての意見表明および注意喚起するべきものと解しております。



また、逆 SEO や不適切・脱法的な情報操作等は、弊社および弊社理事長の双方ともに、内部統制や風評被害対策ではなく民主的な法治国家では避けるべき「情報統制」ですらあり得るとの考えから、それらの問題行為による対応は一切避けて参りましたし、今後も行おうつもりはございません。

もし、弊社および弊社理事長の責による法的・倫理的に問題ある行為があったのであれば、法的・倫理的に問題なく社会的通念にも照らし正々堂々と公正妥当に適切な手続きを経て対処を要求されるべきものであると、弊社および弊社理事長は考えております。

弊社および弊社理事長ともに、法的・倫理的な観点や真実性・相当性といった観点から、公にご批判されて然るべき点がございますような場合は、甘んじてご批判・ご指摘を承り、情報操作・情報統制やいわゆる「オルタナティブ・ファクト」をねつ造するようなことはしておりません。

しかし、悪意ある違法行為や反社・民暴的な対応等の一切に関しては、内部統制やコンプライアンス経営やハードクレームの危機管理術といった内容等を指導する立場として、加害者といえども人権等に慎重に配慮しつつ、厳正で毅然とした対応を必要に応じて講じるべきと弊社および弊社理事長が考える次第でございます。

なお、弊社の反社原則を下記にて掲載しておりますし、それ以前に問題ある企業さまや個人の方などを、権利の濫用にあたらぬよう配慮しつつ、反社の適否以前に企業規模の大小や損得に関わらず取引停止処分を課しております。

弊社の反社原則：<http://www.jmri.co.jp/privacy.html>

それ以前に、弊社理事長みずからが、自ら身を律するために、私費を投じて戸村智憲を事実に基づき法的・倫理的に問題ない限りは遠慮なく徹底的に批判して頂きそのままご指摘を出版する対応を、既に『ERM レビューVol.4』の出版において行っておりました（「戸村へのクロスファイヤー」コーナーで複数ページに渡り戸村への公開批判記事を戸村自ら募ってそのまま掲載・出版済み）。

また、弊社の社会貢献出版におきましても、弊社客員研究員に対しましても、弊社理事長について事実に基づき法的・倫理的に問題ないものであれば、戸村智憲という人物の言行について批判する内容の著作物でも、弊社理事長の私費および弊社の費用負担にて公刊の社会貢献出版の書籍として検閲や修正依頼を行わずそのまま出版させて頂く旨をご説明申し上げております。（社会貢献出版についてはこちら：<http://www.jmri.co.jp/donate-books.html>）

以上につきまして、注意喚起および弊社の対応についてこの場をもってご説明申し上げます次第でございます。

2017年(平成29年)4月16日 日本マネジメント総合研究所合同会社
以上。

